

当園には認知症サポーターが在籍しています!!

◆ 認知症サポーターとは?

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者のことです。



◆ 認知症サポーターはどんなことをするのか?

例えば、『友人や家族にその知識を伝える』『認知症になった人や家族の気持ちを理解するよう努める』『隣人あるいは商店・交通機関等、まちで働く人として、できる範囲で手助けをする』などがあります。

◆ 認知症サポーターを見分ける方法はあるのか?

認知症サポーターには認知症を支援する「目印」としてブレスレット(オレンジリング)をつけています。



1. 貸借対照表の部 (平成29年 3月31日現在)

(単位: 千円)

資産の部	金額	負債の部	金額
流動資産	76,141	流動負債	22,574
固定資産	343,777	固定負債	0
基本財産	239,271	負債の部合計(B)	22,574
その他の固定資産	104,506	純資産の部	金額
		基本金	2,784
		国庫補助金等特別積立金	220,843
		その他の積立金	90,351
		次期繰越活動収支差額	83,366
		純資産の部合計(C)	397,344
資産の部合計(A)	419,918	負債及び純資産の部合計(B)+(C)	419,918

平成28年度決算書

拠点区分

特別養護
老人ホーム
南寿園



2. 事業活動計算書の部

(自:平成28年4月1日 至:平成29年3月31日)

(単位: 千円)

収入の部	金額	支出の部	金額
サービス活動収益計(1)	283,996	サービス活動費用計(2)	297,578
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△13,582		
サービス活動外収益計(4)	1,229	サービス活動外費用計(5)	0
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,229		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△12,353		
特別収益計(8)	0	特別費用計(9)	3,235
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△3,235		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△15,588		
前期繰越活動増減差額(12)	98,953		
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	83,365		
基本金取崩額(14)	0		
その他の積立金取崩額(15)	0		
その他の積立金積立額(16)	0		
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	83,365		

3. 資金収支計算書の部

(自:平成28年4月1日 至:平成29年3月31日)

(単位: 千円)

収入の部	金額	支出の部	金額
事業活動収入計(1)	285,224	事業活動支出計(2)	286,320
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△1,096		
施設整備等収入計(4)	0	施設整備等支出計(5)	6,623
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△6,623		
その他の活動収入計(7)	0	その他の活動支出計(8)	5,881
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△5,881		
予備費支出(10)	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△13,600		
前期末支払資金残高(12)	80,007		
当期末支払資金残高(11)+(12)	66,407		

この決算書は特養のみです。詳細については各事業所に
掲示していますので、来園の際ご確認ください。

編集後記

記録的な大雨により県内各地で甚大な被害が出ており、南寿園でも裏山が崩れるという事態になりました。また、県外でも甚大な被害が出ており、1日も早い復旧が望まれます。

さて、早いもので酷暑であった今夏もうじき終わり、秋、そして冬と季節は変わっていきます。年を追う毎に1日と言えない時間の早さを感じています。1日を無駄にしないように「志は高く謙虚に、楽しめる毎日を」目標に過ごしていきたいと思ひます。(小林)

やよいがおか

第32号

秋田市上北手猿田
字後谷地108-3

TEL 018-829-0700
FAX 018-829-0666

在宅サービス直通
TEL 018-829-0991

編集/発行 社会福祉法人秋田県厚生協会 特別養護老人ホーム 南寿園 施設長 佐々木信悦



皆さん毎日 お元気です!



皆様の日頃よりのご厚情に心より感謝申し上げます。豪雨による災害が各地で連続的に発生し、本県に於いても甚大な被害となり、奇しくも自助・互助・共助・公助を目前の危機として考えさせられる事態となりました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、このような災害に際して福祉施設として出来る支援を行いたいと考えております。

さて、地域包括ケアシステムの実現に向け施策が展開され、社会が少しずつ動き始めているようです。介護予防の大切さはもとより、支援を必要とされるお一人おひとりに暖かい手が差し伸べられる地域の実現には世代を超えた共感と、正に自助・互助・共助・公助を果たすべく自覚が不可欠なようです。社会保障費の増加傾向に反比例する税の将来などを考えれば施策が自助・互助にスポットライトを当てざるをえないことは理解に難くありません。しかし、多様な暮らしや思いが尊重されて、いつかは安らかに最後を迎えることができる地域への歩みには論理を越えて多くの困難があることを誰しも感じておられるのではないのでしょうか。

南寿園の特養部門は50名定員です。平成28年度には11名の方が亡くなられ、その内9名の方を施設内で看取らせていただきました。特養は専門的ケアが提供される生活の場として存在意義が大きく、穏やかに終末期を迎える場所としても欠くことのできない役割を果たしています。また、認知症を原因とする周辺症状への対応や身体機能の維持、穏やかな暮らしの場の提供など、懐深く役割を果たすことが望まれています。従ってその研鑽に力を惜しむことは許されません。特養は地域での暮らしの基礎を支える一員として地域包括ケアシステムに於いても大きな役割を付与されていると認識を新たにしています。

一地域住民として自助・互助について考えさせられると共に、特養に携わる者として改めてその責任の重さを感じている昨今です。

今後とも地域の皆様、関係者の皆様のお力添えを頂きながら役割を果たして参りたく、よろしくお願ひ申し上げます。

施設長 佐々木 信悦

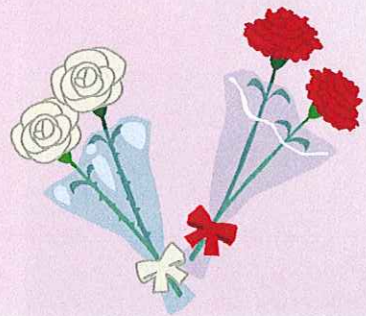
季節行事・・・盛り上がってます

毎年恒例の流しそうめんです(^o^)
利用者と職員が一緒になって楽しむことができました!!!



母の日・父の日

母の日、父の日をお祝いしました。父、母の思い出を話し昔を懐かしみました(^o^)
いつまでもお元気でお過ごしください。



納涼会



えだ豆とピールでかんぱ〜い!!

調理実演

「目で見てもっと楽しく、そして美味しく」

行事食おしながき

- 【主食】白米
- 【主菜】香茅の天ぷら
- 【副菜】淡雪の湯みぞれ
- 【汁物】味噌汁
- 【デザート】水菓子



天ぷら

揚げたてのエビ天はとて大きく皆さん大満足でした!
揚げる職人さんのパフォーマンスに会場は熱気で充満してました!



揚げたては、最高!



ラーメン

初めての取り組みでしたが、皆さんにより雰囲気を楽しんで頂くために、食券を用意し事前に注文をとりました!!
実演は大盛り上がりでした。



調理実演や食事への要望は、当園管理栄養士までお気軽にご連絡ください。
今後は、手打ちそば・寿司等を予定しています。

お知らせ!!!

8月4日、当園駐車場付近にて熊の目撃情報がありました。
来園の際は充分ご注意ください。

